

2025年6月 (No.432)

主な内容とページ

日系半導体企業 21 社 24 年度 売上 7 兆円超、利益率 15%	1
21 社売上は前年度比 9.2%増の 7.39 兆円	2
利益は大手 3 社で全体の 8 割強、	3
21 社総計の利益率は 15.0%	3
TI、大連携で米半導体基盤確立を表明	4
日系大手 5 社、利益率 16%	5
日系、中堅は減収減益	6
頭脳と筋肉 (SRL だより)	8

日系半導体企業 21 社 24 年度 売上 7 兆円超、利益率 15%

25 年 3 月期決算が発表され、わが国半導体企業は総計では好調な結果だった。

1. 21 社の売上は総計で前年度比 9.2%増の 7.39 兆円、営業利益は 98.0%増の 1.11 兆円、利益率は 15.0%を確保した。
2. 但し、内容は、キオクシアの業績に大きく引っ張られ、全般的には減収減益企業が中心。ロームが赤字に転落、当 25 年度はルネサスの巨額損失の計上など波乱含みだ。
3. 今後に関してトランプ関税の影響、EV(電気自動車)市場の調整、ブーム期の過剰設備投資の反動など不透明、失速懸念が増大している。

頭脳と筋肉

AI の飛躍的な進歩が続いている。『ただ飛躍的に性能が高まる AI の頭脳に対して「肉体」の性能を左右する電池やモーターの技術革新は一本調子に進まない(中略)人間のような複雑な動きを持続させるためには、部品類の技術改良に時間がかかるとみる研究者が多い』(日経 6 月 3 日付、(きょうのことば)より。

わが国ソフトバンクの「ペッパー」、ホンダの「アシモ」、米ボストンダイナミックスの 4 足ロボット、最近是中国でヒト型ロボットによる走行レースや格闘技まがいのコンテストまで。しかし、簡単にはいかない。自動車にしても、故障せず誰でも運転できるまで長い歴史を有した。

AI では、米中二大大国が先行しているようだが、これは頭脳の領域。頭脳だけでなく、肉体も大事で、この両者相まって目的を達成できる。肉体は、慣性や習性などコンピュータでは対応しにくい世界だ。職人技がいかされる面も濃い。頑丈で故障しない日本車が世界で評価されている一因だと思う。

(大竹 修)

本誌の内容一覧、索引は、SRL ホームページをご利用ください。

<http://www.semiconresearch.co.jp/>

この資料の複写、複製その他電子的な方法等によるいかなる形での複写利用をお断りします。但しオンライン法人契約を除きます。この資料は公開されている文書および、社会的に信用ある企業、団体等の責任者によって公開された情報を SRL の解釈と分析で表現したものです。 2025 年 著作権所有 株式会社 SRL

SRL Monthly Report

2025 年 6 月(毎月 1 回発行)第 36 巻 6 号(通巻 431 号)

発行元: 株式会社 SRL

〒187-0011 東京都小平市鈴木町 2-865-67

TEL 042(318)7729

編集・発行人/大竹 修

SRL Monthly Report

June 2025, No.431

Semicon Research Ltd.

2-865-67 Suzuki-Cho, Kodaira -City, Tokyo 187-0011 Japan

Publisher/Editor Osamu Ohtake

© (株)SRL 2025

個人利用購読料金 1 年分 12 号 107,800 円(税込み)